

大型捕獲^{わな}のWeb監視・操作システム(まる^{みえ}三重ホカクン) ～県・地元企業・高専との共同開発～

開発の背景

シカやイノシシを集団捕獲する罠が普及
 シカやイノシシの高密度地域では、ドロップネットや大型の
 囲い罠などで集中的な捕獲を行う必要性が高まっている

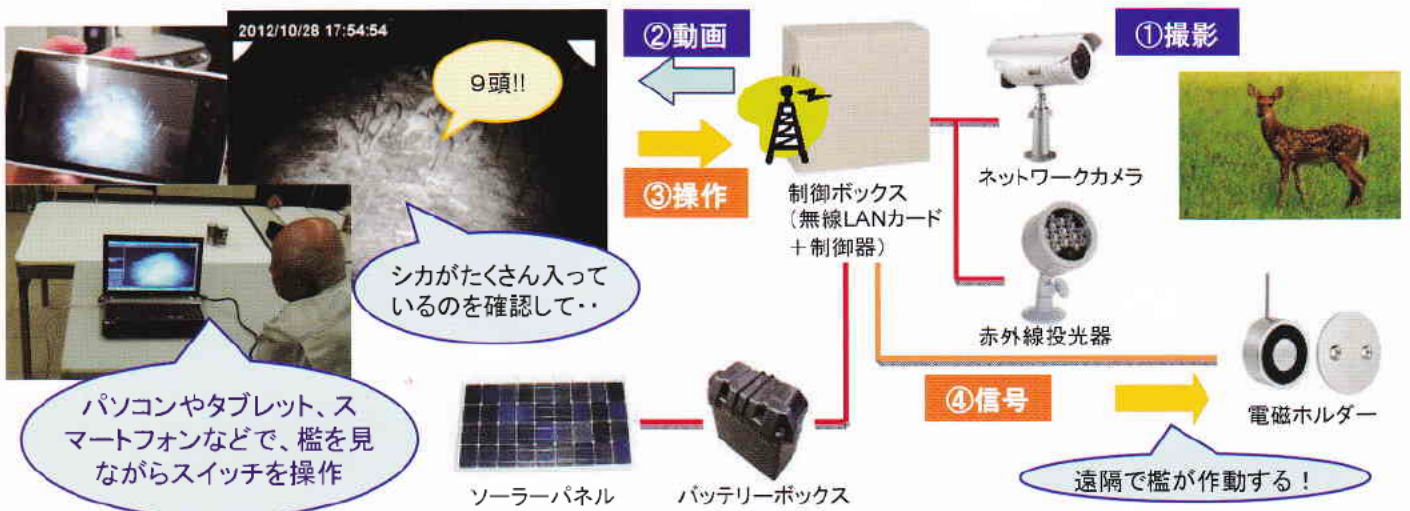
しかし…

確実に複数頭のシカやイノシシを捕獲するためには、
 常時罠の近くで監視が必要となり、捕獲者の負担が大きい



そこで…

Web上で檻や罠を遠隔監視・操作できるシステムを開発!



成果の特徴や注意点

- ・システム開発は鳥羽商船高専と(株)アイエスイーとの共同で実施しました。
- ・シカやイノシシの檻・罠だけでなく、サルの大型箱罠など、種々の大型罠の監視と操作が可能です。
- ・檻の操作に当たっては、狩猟免許(檻罠)の所持が必要となります。
- ・(株)アイエスイー(0596-36-3805)にて販売中であり、他県も合わせて既に13基が導入済みです。
- ・ドロップネットでのシカ捕獲は1ヶ所の累計で最大16頭、囲い罠では最大15頭です。(2013.2月現在)

三重県農業研究所

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530
 TEL 0598-42-6357 FAX 0598-42-1644